

	コード	名 称	区分	コード	名 称	
事業名	159	し尿処理及び施設維持管理	会計	01	一般会計	
			款	04	衛生費	
			項	02	清掃費	
			目	03	し尿処理費	
基本 施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	細目	270	し尿処理及び施設維持管理経費	
行革大綱の重点事項番号			2	細々目	51	し尿処理及び施設維持管理経費
担当部課	コード	100600	担当者 氏 名	玉岡 佳樹	連絡先 (内線)	23 - 1179
	名 称	伊賀市浄化センター				

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	青山地区を除く市内より排出されるし尿・浄化槽汚泥及び処理施設。				※対象件数	58590
成果(どうする)	衛生的な処理及び適正な管理を行う事が出来る。					
根拠法令・要綱等	伊賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成16年11月1日条例第152号)					
開始年度	平成	不明	年度	関連事業	特に無し	
終了年度	平成	未定	年度			
H21 事業 内 容	適正・安全なし尿処理及び施設の運転維持管理に努める。運転管理業務の民間委託を検討する。					
社会情勢 の変化等	運転管理業務を民間へ業務委託できるよう、調整中である。					

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	中部重環オペレーション㈱
2 配置人員	7 人
3 年間運営費	52,500 千円
4 市内の 類似施設	新都市浄化センター

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			目標	目標		
	し尿処理薬品	千円	27195	28000	27000	27000
			実績	実績		
	し尿処理用燃料	千円	58953	60000	30000	30000
			実績	実績		

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標	目標		
	し尿・浄化槽汚泥の適正処理	商業集汚排水施設の大型浄化槽汚泥の搬入については、年度計画を立て変動のない搬入量で処理機能の低下なく処理の適正・安定化を図る。	kl	54000	53000	52000	51000
				実績	実績		
	施設の運転管理の見直し	処理施設の運転管理業務を民間委託することを検討する。		目標	目標		
				実績	実績		

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
	直接事業費計 (A)		208,106		212,262		197,119	
	A の 財 源 内 訳	国庫支出金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他	0	0	0			
		一 般 財 源	208,106	212,262	197,119	250,000		
	事業投入人件費 (B)		7.0 人 50,400	7.0 人 50,400	7.0 人 50,400	0.5 人 3,600		
	フルコスト(A)+(B)		258,506	262,662	247,519	253,600		

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
達成度	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
効率性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	
計画性	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
効果性	【予算の繰越がある場合、繰越の捌け】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
効果性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
効果性	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
効果性	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	施設の運転管理業務について見直しを検討する。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
【詳細】	第1処理場についても23年度を目処に民間に委託することに伊賀市直営し尿収集・処理事業等検討委員会において決定する。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	玉岡 佳樹
事業の方向性	【方向性】 民間委託
	【理由】 民間委託しても、直接市民に影響が無い。
現時点における課題、その他	担当職員の異動等
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成22年度末までに調整する。